

神農広樹

オーボエリサイタル

第Ⅰ部

オーボエ四重奏曲 へ長調 K.370 モーツアルト★
 オーボエと弦楽四重奏のための間奏曲 Op.21 G.フィンジ★
 オーボエとピアノのための3つのロマンス Op.94 シューマン

第Ⅱ部

オーボエと管弦楽のための《花時計》 J.フランセ
 オーボエ五重奏曲 A.バックス★
 オーボエ・ソナタ 二長調 Op.166 サン=サンス

★ゲスト:ヴァイオリン 森下幸路／竹部朱里
 ヴィオラ 木下雄介
 チュロ 佐山裕樹

冬

四季コンサート

2025年12月1日(月) 17:45開場 18:30開演
 会場:アクシティ浜松中ホール
 主催:浜松音楽友の会

プロフィール**神農広樹(しんのう ひろき)オーボエ**

1993年磐田市出身。ジュニアオーケストラ浜松で10歳からオーボエを始める。浜松西高校、武藏野音楽大学卒業後渡独、ドイツ国立トロッキンゲン音楽大学大学院を最優秀の成績で修了。大学院修了後帰国し、兵庫芸術文化センター管弦楽団オーボエ奏者を経て現在、新日本フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者。第91回日本音楽コンクール第2位、その他受賞多数。

オーボエを石橋雅一、インゴ・ゴリツキ、ニコラス・ダニエル、オリビエ・スタンキエヴィチに師事。ベルリンフィルオーボエ奏者のクリストフ・ハルトマンとは個人的な友好関係からオーケストラでの演奏法に大きく影響を受け、度々共演を重ねる。室内楽をカールマン・ベルケシュ、バロック奏法・即興演奏をセルジオ・アツオリーニ、ロレンツ・デュフトシュミットに師事。

新日本フィルでの演奏活動をはじめとしてNHK交響楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、紀尾井ホール室内管弦楽団等、日本全国のオーケストラに定期的にゲスト首席オーボエとして客演。ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニーオーケストラ、国際音楽祭NIPPONフェスティバルオーケストラ、東京・春・音楽祭オーケストラ、ARKシンフォニエッタ、ジャパン・ナショナル・オーケストラ等特別編成のオーケストラにも首席オーボエ奏者として参加を重ねる。ハイント・ホリガー指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団定期公演に客演し、ホリガーからも高い評価を受ける。

ソリストとしても新日本フィル、旧ニューシティ管、浜松交響楽団、浜松市立高校吹奏楽部、ヤイトラーフィル等と共に。音楽監督佐渡裕からの信頼も厚い。活動の場はオーケストラのみにとどまらず、室内楽奏者としても数々の巨匠と共演を重ね、リサイタルや室内楽公演のプログラミングからプロデュース面でも注目を集めている。

スタジオミュージシャンとしてもライブのサポートや、CM、映画、アニメ、ゲーム等の録音に参加。東宝ミュージカルの音楽にも数作品携わる。

後進の育成にも注力しており、在住している千葉県市川市では音楽文化の普及と地域貢献への意欲で小学生から大人まで幅広くオーボエ演奏、音楽表現のレッスンを行う。リリフォニージュニアオーケストラ講師、トヨタユースオーケストラキャンプ講師。

アウトリーチ活動にも積極的に取り組み、墨田区内から全国各地幅広く小中学校や公共施設を訪れ、リードを作りその場で演奏するデモンストレーションが大人気。

フランス、パリのマリゴ社のオーボエを愛用。使用楽器Marigaux M2、2001、901。

ホームページ <https://shinnohiroki.amebaownd.com/>

百武恵子(ひゃくたけ けいこ)ピアノ

東京音楽大学、大学院を経て、パリ国立高等音楽院にて伴奏科、室内楽科を一等賞を得て修了。2007年文化庁海外派遣芸術家海外研修員。フランス国際コンクール室内楽部門第一位。在学中よりロンティボー国際コンクール、カザルス音楽祭、などに公式伴奏者として参加。弦楽器、クラシック伴奏者を度々兼任し、パリ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団などのメンバーと共に。09年に帰国。10年文化庁国際交流基金の支援のもとアルジェリアにてリサイタルを行う。ピアノを三浦捷子、川上昌裕、伴奏法と室内楽をJ.ケルネル、山洞智、C.イバルディの各氏に師事。東京音楽大学非常勤講師(伴奏、室内楽)



神農広樹

オーボエリサイタル



©Mantaro Jo